

令和2年度 上田市立塩尻小学校 学校自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿 (中期的目標)	総合評価			
(1)思いやりのある子供 (やさしさ) (2)じょうぶな子供 (たくましさ) (3)よく考える子供 (かしこさ) (4)最後までやりぬく 子供 (ねばり強さ)	(1) 人の気持ちがわかり、思いやりのある言動がとれる子供 (2) 生活リズムを整え、病気やけがに気をつけて生活できる子供 (3) 進んで学習に取り組み、自分の考えを表現しようとする子供 (4) 本気で取り組み、粘り強くやり抜く子供	コロナ禍の中で、学級作りが2か月遅れて始まったが、児童の心の不安を和らげることを大事にしながら、学校生活のルール作りや人間関係づくりを進めた。前期は、感染症対策のため学習や活動が学級中心になりがちだった。後期は、他学年との交流の場を工夫するなどして、人との関わりの中で達成感や次への意欲が持てるようにしていく。			
	今年度の重点目標		成果と課題	評価	改善策・向上策
	1	支え合う学級づくり	心のアンケートや仲よしアンケート、Q-U検査を実施し、児童の内面の理解に努めながら学級作りを進めた。	A	児童が主体的に活動する時間を大事にし、自分の頑張りや友達の良さに目を向けていけるような振り返りを位置付ける。
	2	学び合う授業づくり	家庭学習の定着や学習に向かうルール作りを進めてきた。感染症対策のため、グループ学習や発表、直接的対話に消極的になった。	B	UDの視点をもって授業作りを進めるとともに、様々な形での意見交換や感想交流の仕方を取り入れ、「表現力」の育成を目指す。
3	高め合う活動づくり	学級中心に、高め合う活動に取り組んだ。感染症対策のため、地域学習を進めることができなかった。	B	コロナ禍で地域や他学年とつながりながらできることに取り組む。PDCAで積み重なっていく活動・学習にする。	

領域	重点	評価項目	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
学校教育	支え合う学級	あいさつの充実	児童会の挨拶運動を中心に、来校者や地域の中でも進んであいさつする子供を増やせたか。	登校時の健康観察(検温)をしてから児童会活動になるため、計画より短い時間での挨拶運動になったが、毎朝児童会で呼びかけを行っている。一部に受動的な挨拶の姿も見られる。	A	挨拶運動を継続しながら、よい挨拶の姿を全校に紹介し、さらに気持ちのいいあいさつが飛び交う学校を目指していく。
		認め合う関係づくり	自分と友達との違いや良さに気づき、よりよい関係を築こうとする態度を育てるために、力を合わせて取り組んだり、課題を解決したりする経験を増やす活動場面や場づくりを進めることができたか。	臨時休業あけ、各学級で、学級活動や遊び、学習を通して互いに認め合える学級づくりに取り組んできた。夢中になって遊ぶ、追究する経験を保障したい。	B	児童が主体的に計画したり考えたりして行う時間を大事に位置付け、支えていく。他学年との活動や交流を取り入れていく。
		児童把握と個に応じた支援	Q-U検査やアンケートで児童の状況や実態を把握し、必要に応じて個別の指導計画を作成しながら全職員で連携して支援にあたることができたか。	Q-U検査やアンケートを実施し、児童の状況把握に努めた。特に、感染症にかかわる心の不安を注意深く見取り、個の実態や思いに添った支援を検討し、行うことができた。	A	チームで個に応じた支援にあたっていく。支援の手立てを検討し、経過を多方面から見て情報共有し、見返すPDCAを意識して支援していく。
	学び合う授業	学習の約束・きまりを守り、深める学習	仲間と共に深める学習に向けて、はっきり話す、話し手を見て最後まで話を聞く姿勢を大切に指導することができたか。	6月からの学級開きとなったが、1学期中に学習のルール作りと定着に取り組んだ。全校で集まる機会がなかったため、学級の中で伝え合う場づくりをした。	B	密にならないように配慮しながら、集会を計画したり、他学年との交流の場を設けたりしながら、相手意識をもって伝え合う場を設けていく。

	学び合う授業	自主的・計画的に取り組む家庭学習	「紡ぐ」を活用し家庭学習の定着を図り、発達段階に応じて自主学習に取り組めるよう指導支援できたか。	学年の実態に応じて「紡ぐ」を書く時間を位置づけている。担任が毎日目を通して家庭学習の定着を図ってきた。毎日取り組む課題に、しっかり取り組める児童が多い。	B	授業と家庭学習の連動を図りながら、予習的な家庭学習も計画的に取り入れて授業改善に取り組んでいく。各学級の取り組みに学び合いたい。
		「できた」「分かった」と実感できる授業	子供たちが自ら追究していくためのねらいや学習課題、ねらいにそった見返しや定着を設定できたか。	学習進度の遅れを取り戻すことも考えて、年間指導計画の見直しとねらいを明確にした日々の授業作りに取り組んできた。振り返りや定着の見届けを丁寧に行いたい。	B	時間的ゆとりができたので、課題解決学習を今より多く取り入れるとともに、課題に対する振り返りの時間を大事にし、基礎学力の定着につなげていく。
	高め合う活動	個の目標に向かって取り組む	個に応じた適切なめあてを設定し、目標に向けて粘り強く取り組む姿勢を指導・支援することができたか。	児童会、清掃、学級活動など、各学級の活動を中心に、個に応じた目標に向かって取り組む姿勢を支援してきた。	A	内容を縮小した学校行事に、児童が準備や運営に積極的に係わり、達成感が持てるように方法を検討していく。
		発展的・継続的に広がる学習を構想する	教科の枠を超えて関連させた学習指導や活動を構想して、主体的に取り組む姿を増やすことができたか。	特別活動を中心に、児童が計画・準備を進めて主体的に取り組める活動を支援してきた。	B	活動の振り返りを行い、次に活かす・つなげる活動にしていく。
		地域との学び	地域資源（人材・題材等）を活かして、クラブ活動・生活科・総合的な学習を構想し取り組むことができたか。	感染症対策のため、地域講師との学習を見合わせるが多かった。農業体験学習など、できるときに、できることに取り組んだ。	B	総合的な学習の時間の年間計画を見直し、コロナ禍で実現できる地域との学びや地域を学ぶことに取り組んでいく。
	学校運営	地域との連携	情報の発信	学校、学年、学級だより、学校ホームページを通して情報をタイムリーに発信できたか。	臨時休業中に、学校からの情報を積極的に発信した。	A
PTA や地域の方々との連携			PTA や地域の方々との連携を十分に行うことができたか。	通学路の安全確保について検討することができた。	B	PTA や地域の方と情報を共有する機会を大事にする。通学路に安全について、引き続き連携していく。

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できた D・・・達成できなかった